



学校だより

えぞふじ

令和7年9月1日(月)
喜茂別町立
喜茂別小学校
第 6 号

2025
SEPTEMBER
9

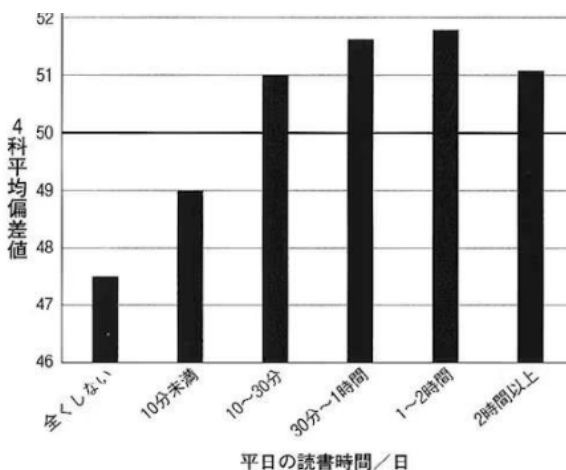
『読書と学力の相関関係』

校長 古 館 昭 仁

20日に2学期がスタートしました。始業式には全員集合とはなりませんでした。夏休み中は事故やケガ、大きな病気が無かったようで、一安心しています。12月まで長丁場の2学期。学校の教育目標は「学び続ける力をもち、明るく思いやりのある人」が達成できるように、全校一丸となって取り組んでいきます。

さて、2学期はじめの今回の学校便りでは学校評価にもありました「読書習慣と学力の関係」について紹介します。一般的に考えると読書量が多い方が学力が高いというイメージがありますが、調べてみるとそう簡単ではないようです。

平成21年に静岡大学で「全国学力学習状況調査」を使って読書活動と学力・学習状況に関する調査研究を行い、平日の読書時間の量と学力の関係、そして、読書好きと学力の関係で、興味深い結果が出ています。それは、「読書好き」と答えた児童生徒は、どの教科、どの学力層に対しても、正答数が多くなるなど、学力と強い関連性を示していました。また、平日の読書量との関連では、教科の学力が高い層ほど、平日に10分以上1～2時間未満の読書を行う児童生徒の割合が多い傾向となったそうです。つまり、読書好きな児童生徒は、読書の質を高めるよう計画的に本を読み、学力も高いといえるのではないのでしょうか。



左のグラフは、平成29年度に4万人の子供たちを対象に行った読書時間と成績の関係です。読書時間が長いほど成績が高くなっています。先程の調査と似ていて、10分以上1～2時間未満の子どもは読む時間が増えるほど平均偏差値が高い傾向にあります。読書のために勉強や睡眠の時間を削ることは成績低下に繋がる可能性もある事も示しています。

研究者の川島隆太教授は次のように話しています。「読書を全くしない子が平均点を超えるには、家で毎日2時間勉強して、かつ睡眠を6時間から8時間キチッととらなければなりません。ところが読書を毎日する子たちは、家での勉強時間が1時間もあれば十分で、あとはちゃんと睡眠さえとっていれば平均点を軽く超えるのです。さらに、毎日1時間以上読書する子たちは、宿題さえちゃんとしていれば、あとは適切な睡眠時間が確保されると楽々平均点を超える。」

つまり、両調査から言えることは、単なる読書量で学力が決まるのではなく、読書が好き、かつ、計画的に読書や学習や睡眠などをすることが重要なのですね。

本年度の重点目標

主体的・対話的に学ぶ力の育成 ～意欲溢れる優しい子～

大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう！



7月28・29日の2日間、4年生以上を対象に「スマイル塾夏休み学習会」が開催され、連日15名程度の児童が参加しました。忘れてしまったところや難しい問題などを中学生ボランティアや教育委員会の方々にアドバイスしてもらいながら、午前8時半から11時まで、集中して課題に取り組むことができていました。1人だとなかなか進められない課題も、友達と一緒に頑張る力に変えられたようです。

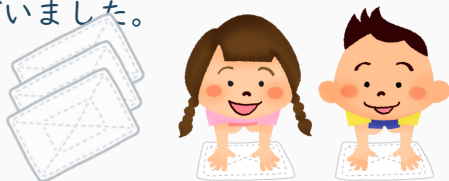
また、始業式当日には夏休み中の力作を抱えた子ども達が元気に登校してきました。昨年度から夏休みの作品作りは任意の取り組みとなりましたが、自分の「やってみたい」という興味から、自由研究や作品作りに取り組んだ児童がたくさんいました。玄関前に展示されている友だちの作品を見て、「これ面白い！」「すごい！」「作ってみたいな。」と話している声が聞こえてきました。意欲は学びを支える力になります。子ども達が「やってみたい」と思える題材に出会い努力を惜しまず取り組む姿勢が嬉しいです。



DOMATION

ぞうきんの寄贈

夏休み中に、南後志地区郵便局長夫人会の皆様より、雑巾の寄贈がありました。校内の清掃活動で、活用させていただきます。ご協力、大変ありがとうございました。



COUNSELING

安心を自分で生み出すために

5・6年生を対象に、みらくカウンセリングルームのみらくさんを講師にお招きし「心の器の育て方」を道徳の時間に教えていただきました。うまくいかずに、心が落ち込んでしまったり、友だちとの関係で悩んだ時には、「できない自分」もそのまま受け入れて、「がんばった自分」を褒めてあげることや、自分を好きになることの大切さを教わりました。学んだことを、普段の生活でも使うことで、心を元気にできるといいですね。



LECTURE

第73回後志PTA研究大会兼第36会子育て研修会へのお誘い

安心メールでお知らせしております、9月7日（日）の研究大会ですが、まだお席に余裕がありますので、多数の皆様に参加していただきたいと思い、再度お知らせです。

formsでも、申し込みができますし、小学校教頭までお電話でお申し込みいただいても結構です。講師の先生方の心に染み入るお話や、歌声を聞きませんか？皆さんの申し込みをお待ちしております。

学校 (0136)33-2011 教頭 宮田

こころとからだといのちを伝える

高杉 ゆう子 さん



札幌の公認心理師・高杉さん

札幌の社会福祉専門学校で臨床心理士の高杉ゆう子さん(34)は、幼少から読書が大好きで、大人になっても読書の楽しさを伝えるのが大好きです。自分らしく生きていく素晴らしさを伝えるのが使命だと感じています。読書を通して、心と体の健康を保つことが大切だと感じています。読書を通して、心と体の健康を保つことが大切だと感じています。読書を通して、心と体の健康を保つことが大切だと感じています。

北海道出身のシンガーソングライター

半崎 美子 さん



大学在学中に音楽に目覚め、上京。パン屋さんと働きながら曲を書き、ショッピングモールを回り、「ショッピングモールの歌姫」と話題に。小学校5年生の音楽教科書に「地球へ」が掲載されました。

PATROL

夏祭り・神社祭巡視

8月9・10日に行われた喜茂別夏祭りで巡視活動を行いました。子ども達には問題行動も見られず、地域の教育力の高さを感じました。ご協力くださったPTAの皆様には、遅い時間帯にも関わらず快くお引き受けいただきありがとうございました。

9月4・5日は、神社祭が予定されています、こちらもPTAの皆様のご協力をいただき、巡視いたします。子ども達が安全に過ごすことができるよう、ご家庭での声かけもどうぞよろしくお願いいたします。

いつでもご相談を

夏休みが明けて2週間が過ぎました。子ども達の元気な声が学校中に響いており、嬉しく思います。

2学期は最も長い学期で、学びも多い分、忙しさも増えます。毎日を元気に安心して過ごして欲しいと願っています。お子様の様子で心配なことや、気になることがありましたら、小さなことでもかまいません。いつでもお気軽にご連絡・ご相談下さい。

学校:0136-33-2011